

調整計画策定に向けた基礎資料及び市民意見等について

1 令和 4 年版 武蔵野市地域生活環境指標

(1) 概 要

地域生活環境指標は、武蔵野市の生活環境にかかわる様々なデータを地図情報として視覚的に表現するとともに、市の基礎的な統計情報や近隣都市との比較もまとめた包括的なデータ集である。

本指標は、昭和 48 年の武蔵野市基本構想・長期計画第一次調整計画の基礎作業として、武蔵野市内の各地域別の生活環境格差や生活環境水準の都市間比較を、指標値表や指標地図に基づいて客観的に検討し、長期計画や調整計画の科学性を高め、市の行政水準を適正な形で向上させる資料とするだけでなく、これを広く市民に公開し、市民による地域生活単位（コミュニティ）の自主構成及び地域生活環境の自己点検の資料とすることを目的として作成された。

以降、長期計画や調整計画の策定における基礎資料として活用するため、市職員が組織を横断したチームを組んで携わり、計画策定における職員参加の 1 つとしても位置付けられている。

なお、令和 4 年版については、市民・議員・職員がより有効に活用できるよう、各指標項目内容を分かりやすく伝えるための説明文を追加したほか、情報共有及び市民参加の促進という観点から、本冊子が無償で配布することを決定するなど、資料の活用方法に重点を置いて作成している。

- (2) データから見た武蔵野市 令和 4 年版 武蔵野市地域生活環境指標
別紙「資料 4-2」を参照（資料はデータのみ）

2 第六期長期計画・調整計画市民会議

(1) 目 的

第六期長期計画・調整計画策定において検討すべき課題や重点的に取り組むべき施策等について市民感覚で討議し、討議結果を市長に報告すること。なお、討議結果については、策定委員会での議論の参考とする。

(2) 実施概要（全 4 回実施）

回	日時/場所	内容
第 1 回	令和 4 年 6 月 13 日（月） 午後 7 時から 9 時 @412 会議室	市長挨拶/委員自己紹介/趣旨説明/意見交換 「市政全体について、いま思うこと」
第 2 回	令和 4 年 6 月 26 日（日） 午後 1 時から 5 時 @813 会議室	グループ討議 (1) 健康・福祉、(2) 子ども・教育、(3) 行財政
第 3 回	令和 4 年 7 月 3 日（日） 午後 1 時から 5 時 @813 会議室	グループ討議 (1) 平和・文化・市民生活、 (2) 緑・環境、(3) 都市基盤
第 4 回	令和 4 年 7 月 22 日（金） 午後 7 時から 9 時 @412 会議室	報告書案について/意見交換 「分野横断的な課題とそれに対する取組み」

委員数：男性13名、女性5名、計18名（4グループ）

対象：18歳以上の市民

設置期間：令和4年6月13日から令和4年9月30日まで

(3) 主な意見（抜粋）

課題	取組み
【健康・福祉】 かかりつけ医が市外の方もいる。近隣自治体との連携が必要。	クリニック側が患者を把握するような制度を構築するとともに、近隣自治体と連携した広域的な福祉体制を検討する。
【子ども・教育】 子どもに食事を提供できる市の施設がない。また、悩みや不安を抱える子どもの情報が不明瞭。	市内飲食店と連携し、子どもに食事を提供しながら、困り事などを抱える子どもの情報を市が収集する。
【平和・文化・市民生活】 自主防災組織の活動内容や実績、役割が不明。担い手も高齢化、固定化している。	プロジェクト型のその時居合わせた人で動けるような計画を作る。
【緑・環境】 市内のどこにどのような公園があるか全体像が見えない。	全体像が見えるような観光マップを作成し、駅前に案内板を設置する。
【都市基盤】 歩道や通学路を通る自転車のマナーが悪い。	全年齢的な自転車安全指導を行うとともに、自転車マナーの取り締まりを強化する。
【行財政】 市政に興味関心がない方への情報発信ができていない。また、ホームページも関連情報のリンクが乏しく検索しにくい。	市ホームページにて「本日決定したこと」を一行ニュースのように表示させ、そこに関連リンクを貼付する。

(4) 実施報告書

別紙「資料4-3」を参照

3 むさしの未来ワークショップ

(1) 目的

第六期長期計画・調整計画の策定に向け、市の将来を担う中高生世代の意見を積極的に取り入れること。なお、出された意見等については、今後の計画策定の参考とする。

(2) 実施概要

日時：令和4年7月28日（木）午前10時から午後4時

場所：武蔵野スイングホールスカイルーム

参加人数：男性8名、女性10名、計18名（4グループ）

対象：市内在住・在学の中高生世代（12～18歳）の方

支援事業者：特定非営利活動法人地域持続研究所（千葉大学研究グループ）

(3) 当日の進行

- ① オリエンテーション・アイスブレイク・講義により未来の市の状況や課題等を説明
- ② グループワーク
 - ア) 2050年の未来市長が直面する課題の書き出し
 - イ) 2050年の未来市長からの政策提言の書き出し
 - ウ) 松下市長への政策提言の発表
- ※4グループ（1グループの参加者は4～5名程度）に分かれて意見交換
- ③ 全体共有

(4) 主な意見（抜粋）

政策提言	市長コメント
農業 食料自給率の低さが課題であり外国人労働者やICT機器の活用が必要	試行事業として「CO+LAB MUSASHINO」という市内農業者と飲食店の連携事業を実施し、市内農産物を使った地産地消の取組みを進めている。
環境 余った食料や給食のごみをエネルギーにする仕組みが必要	焼却熱を電力に変える取組みを行っている。民間企業では、生ごみのたい肥化等様々な実験を実施しているため注目してほしい。
外国人 日本でルールを学べる機会や差別なく教育を受ける体制を整えることが必要	外国人を差別しないことは大切なこと。同じ住民であり、一員であるという意識が大切である。
福祉 子育て経験が豊富な高齢者による保育所があると、将来子どもが介護に興味を持てるのではないか。	子どもが介護に興味を持つことは大事なこと。高齢者による保育所を開設した場合、利用者から選ばれるための工夫ができるとさらによい。
災害 発災時に拠点となる施設（防災トイレや飲料水排水所）を増やすことが必要	災害への備えは大事なこと。どのような場所にどのような施設が必要か具体的に考えられるとよっとよいと感じた。
教育 選挙や人権に関する教育を小学校など早い段階で実施してはどうか。	選挙や人権に関する教育はとても大事なことと認識している。自分と異なる意見を持つ人と議論するディベート力を養う必要もある。

(5) 実施報告書

別紙「資料4-4」を参照

4 無作為抽出と公募による市民ワークショップ

(1) 目的

第六期長期計画・調整計画策定に向け、普段市政に参加する機会があまりない市民の方から広く意見をいただくこと。なお、出された意見等については、今後の計画策定の参考とする。

(2) 実施概要

日 時：令和4年8月6日（土）午後1時から5時

場 所：武蔵野スイングホールレインボーサロン

参加人数：男性11名、女性6名、計17名（5グループ）

対 象：住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の市民1,500人のうち対面実施版での参加を希望された方と公募により申し込まれた方

※抽出日は令和4年3月15日

そ の 他：① 令和4年5月にオンラインで実施したワークショップと同内容を実施。

② 市民ファシリテーター6名に全体進行及び各グループでの進行を担っていただいた。

(3) 当日の進行

① ワークショップや第六期長期計画・調整計画策定の流れ等について説明

② グループワーク

<テーマ>

①この2年間の生活でどんな変化があったか。その変化はよい変化か、悪い変化か。

②悪い変化を良い変化にするにはどうしたらよいか。

③良い変化をさらに良くするにはどうしたらよいか。

※6グループ（1グループの参加者は4～5名程度）に分かれて意見交換

※意見出しには、ホワイトボードツール（MIRO）を活用

③ 全体共有

(4) 主な意見（抜粋）

変化	良くするためには
自分時間の増加	図書館や体育施設などの設備やメニューの充実 イベントや施設情報などの積極的な広報
昔からある老舗の閉店	武蔵野市テイクアウト食祭りなどのイベント実施 グルメマップの作成など市内の店舗案内の充実
農地から宅地への転用による緑の減少	税金の軽減や支援金の充実 緑を維持している事業者へのインセンティブの確立
コミュニケーションの機会減少	オンラインツールの活用と苦手な方への支援体制の構築 会食や交流時のルールの確立と周知
若い親子の増加	子ども手当の制限緩和 子育て情報の市外への発信強化

(5) 実施報告書

別紙「資料4-5」を参照